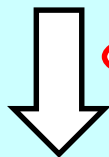


他者のよさを認め、仲間を支える心を育む生徒指導の充実を！

新学習指導要領総則には、生徒指導に関する内容として「全ての児童生徒それぞれの人格のよりよき発達を目指すとともに、学校生活が全ての児童生徒にとって有意義で興味深く、充実したものになるようにすることを目指すもの」であると示されています。コロナ禍において、今までと異なる環境に対するストレス等を抱える児童生徒は少なくありません。児童生徒についての理解をより一層深め、一人一人に寄り添った生徒指導に努めることが重要です。好ましい人間関係を基に豊かな集団生活が営まれる学級や学校づくりに向けて、生徒指導の充実を図りましょう。

コロナ禍における生徒指導

新型コロナウイルス感染症の感染者等に対する差別や偏見の防止の徹底



児童生徒が差別や偏見について考え、適切な行動をとることができるようにしましょう。



児童生徒が主体となった

豊かな集団生活が営まれる学級や学校づくりに向けての取組（例）

他者の痛みや苦しみに気づき自分事として考え、辛さに寄り添える心の育成
～高崎市立榛名中学校の取組～

仲間と支え合える力、ピアサポートのできる児童生徒の育成
～甘楽町立甘楽中学校区の取組～

新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、様々な学校行事等は中止となり、今までにない事態に生徒は辛く苦しい思いをしました。しかし、生徒は医療従事者の方々や、今まで当たり前だった日常を支えてくださっている方々を見ることにより、「辛い思いをしているのは自分たちだけではない」ことに気づきました。そして、生徒会が主体となって「自分たちに今できること」を話し合いました。その結果、感謝の気持ちを伝えるために、DVDを全校で作成したり、前向きな決意を込めたステッカーを作成したりして、医療従事者の方たちも含めた、地域の方々への配付を行いました。

生徒会主体から、全校生徒による活動に発展させ、想いを込めた活動を通して、生徒は自分のことだけではなく他者の痛みや苦しみに気づき、寄り添うことの大切さを学ぶことができました。



配付されたステッカー

小中連携を図り、ソーシャルスキルトレーニングやグループワークの指導計画を作成しました。

これにより、教師は中学校区で目指す児童生徒像が明確になり、発達段階に応じた適切な指導を充実させることができました。また、「親子ピアサポートトレーニング」を行うことにより、親子でコミュニケーションの心地よさを学ぶことができました。

家庭とも連携を取りながら、義務教育9年間を見通して「人と支え合う」ことに焦点をあてた教育活動は、児童生徒が人とのコミュニケーションの在り方や人と支え合うことの大切さを学べる大変有効な活動となりました。



甘楽町小・中学校

「生活・学習ガイドライン～9年間の発達と学びをつなぐ」

新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別を防止するための規定が設けられました。 (新型インフルエンザ等対策特別措置法等を一部改正する法律 令和3年2月13日施行)

今後も、児童生徒等が新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、適切に対応するための、学校における指導が一層、重要になってきます。

日頃から児童生徒の心身の状況の変化に注意したり、ICTの活用も含めたアンケート調査、担任やSCによる個人面談等の教育相談等を実施したりしながら、悩みを抱える児童生徒の早期発見・早期対応を組織的に行いましょう。

生徒指導



ICT



- 朝の健康観察等の確認
- いじめアンケート等の集計や全児童生徒からの意見集約
- SC等によるオンラインカウンセリング
- 蓄積した情報をSCのアセスメントに活用 など